



安管事故月報（令和2年中の状況）

（一社）宮城県安全運転管理者協会 【令和3年1月】

1 交通事故等の特徴

- 安全運転管理者選任事業所の従業員の人身交通事故は、発生件数及び負傷者数は大幅に減少し、死者数も3人減少しました。
- 交通死亡事故7件のうち、通勤中の交通死亡事故が5件5人を占めました。
- 飲酒運転事故は、業務外に4件8人発生しました。
- 発生時間は、通勤時午前7時～9時台が174件(26.3%)、午後5時～午後8時台が176件(26.3%)を占めました。
- 事故車種の免許取得後の経過年数は、10年以上が445件と全体の67.4%を占めました。
- 事故形態は、660件中、追突事故が302件と全体の45.8%を占めました。

2 前年との比較

【12月末までの発生状況】

安管事業所の全事故	区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
			件数	死者	重傷	軽傷	計
	本年	660	7	7	53	754	807
前年	763	10	10	63	849	912	
増減	数	-103	-3	-3	-10	-95	-105
減率	率	-13.5	-30.0	-30.0	-15.9	-11.2	-11.5

【目的別発生状況】

区分		発生件数	死亡事故		負傷者		
			件数	死者	重傷	軽傷	計
業務中の事故	本年	167	1	1	14	183	197
	前年	177	0	0	13	213	226
	増減	-10	1	1	1	-30	-29
通勤中の事故	本年	280	5	5	21	311	332
	前年	297	5	5	28	305	333
	増減	-17	0	0	-7	6	-1
業務外の事故	本年	213	1	1	18	260	278
	前年	289	5	5	22	231	253
	増減	-76	-4	-4	-4	-71	-75

【県全体の事故との比較】

（令和2年12月31日現在）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者	重傷	軽傷	計
宮城県全体の事故	4,487	44	44	483	5,000	5,483
安管事業所の事故	660	7	7	53	754	807
占有割合	14.7%	15.9%	15.9%	11.0%	15.1%	14.7%

各地区会ごとの交通事故発生状況(単月)

【12月単月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計			
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	
中央	仙台中央			2			3			1			6	
	仙台南			1			2			1			4	
	仙台北						1						1	
	仙台東			3			7			5			15	
	泉			3		1	2		1	2		2	7	
	若林			3		1				4		1	7	
	塩釜		1				4			2		1	6	
	黒川									1			1	
沿岸	石巻			2			1			1			4	
	気仙沼									3			3	
	佐沼													
	登米													
	河北						1						1	
	南三陸						2			1			3	
仙北	古川			3			4			2			9	
	遠田			1									1	
	若柳													
	築館													
	大崎西									1			1	
	加美			1		1	2					1	3	
仙南	岩沼			5			6						11	
	柴田						2			3			5	
	白石						2						2	
	角田						2						2	
	亘理			1								1	1	
計			2		24		3		41		1	27	6	92

各地区会ごとの交通事故発生状況(累月)

【1月~12月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計		
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷
中央	仙台中央		1	21	1		16		1	24	1	2	61
	仙台南			7	1		12		2	9	1	2	28
	仙台北			5		2	14		1	13		3	32
	仙台東		3	37		3	57		1	46		7	140
	泉			19		3	18		1	12		4	49
	若林		2	34		2	20		1	27		5	81
	塩釜		3	6			25		2	10		5	41
	黒川		1	3		1	18		1	10		3	31
沿岸	石巻		2	9		2	25		1	16		5	50
	気仙沼			1	1	1	2			8	1	1	11
	佐沼			3		2	1		1	5		3	9
	登米			3			1			1			5
	河北						4						4
	南三陸			1		1	4			5		1	10
仙北	古川			15			11		1	18		1	44
	遠田			1			3		1	4		1	8
	若柳			2						3			5
	築館			2			4			1			7
	大崎西						1			1			2
	加美			2		1	9		1	3		2	14
仙南	岩沼	1		8	1	1	23		1	12	2	2	43
	柴田			4	1	1	11			19	1	1	34
	白石						9	1	1	4	1	1	13
	角田		1			1	19		1	7		3	26
	亘理			1			4			2		1	6
計		1	14	183	5	21	311	1	18	260	7	53	754

2月の交通事故防止のポイント

～令和2年の交通死亡事故等の主な特徴について～

交通死亡事故の特徴を検討し、事業所での交通事故防止に努めましょう

1 交通死亡事故は前年比より減少

交通死亡事故は44件44人で、前年と比較すると-17件-21人と発生件数死者数とも大幅に減少しました。

状態別では、四輪車運転中19人、同乗中1人、二輪車5人、自転車4人、歩行者15人でした。

2 高齢運転者事故は前年比より増加

高齢運転者(軽車両の運転を除く)が第1当事者となった交通死亡事故は14件14人(前年比+2件+2人)で、全体の3割以上(31.8%、44件中14件)を占めました。事故類型別では、正面衝突1件、出会い頭3件、右折直進1件、車両単独3件、人対車両6件でした。

3 交通事故死者の4割台半ばが高齢者

高齢者の交通事故死者は20件20人(前年比-2件-2人)で全交通事故死者のうち4割台半(45.5%、44人中20人)を占めました。

状態別では、歩行者9人(道路横断中5人、その他4人)、自転車3人、四輪車運転中7人、同乗中1人でした。

4 交通事故死者の3割台半ばが歩行者

歩行者の交通事故死者は15件15人(前年比-4件-4人)で前年比で減少したものの、全体の3割台半ば(34.1%、44人中15人)を占めました。

状態別では、道路横断中8人(横断歩道3人、横断歩道付近1人、その他横断4人)、横断以外(列車事故を含む)7人でした。

5 交通死亡事故の4割以上が自車線はみ出し

自車線をはみ出しての交通事故(「正面衝突」と「路外逸脱による単独事故」)は19件中19人(前年比-12件-16人)と前年比で減少したものの、全体の4割以上(43.2%、44件中19件)を占めました。(自車線はみ出しの数値は、「自転車」も含む数値)

また、19件中3件が高齢運転者(軽車両を除く)による事故(正面衝突1件、車両単独2件)でした。

6 死亡事故多発日

警察本部交通企画課の分析によりますと、2月の交通死亡事故多発日は**2月3日**となります。



冬道の1.2.3運動を実践しましょう!!

